

夢に向かって!

発行
令和4年11月25日(金)
名古屋道德教育研究会 広報部



Meidouken.com

誰もが安心して考えることができる道德科の授業

— 実態に応じた個別最適な支援を通して —

名古屋市道德研究会 授業づくり研究部会 部長

名古屋市立宝小学校 岡田 陽介



本年度、名古屋市道德研究会の授業づくり研究部会では、授業中の子ども一人一人の困り感を把握した上で、その実態に応じた個別最適な支援について研究を進めています。ここでは、部員が道德授業の中で実践した子どもの困り感に応じた支援の中から、3種類の方法を紹介します。

実践 主題名「きまりの意義や大切さとは」 教材名「お客様」 ※出典：光村図書『きみがいちばんひかるとき 5年』

子どもの困り感に応じた支援を紹介します!

BGMを付けて臨場感を演出

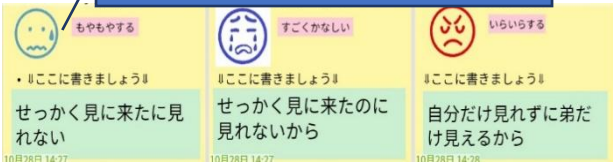
やりとりを色やイラストで強調

支援① 教材を理解するのが苦手な子どもを支援!

教材をスライドショーとともに読み聞かせました。
吹き出しや登場人物の動き、音楽を付けて臨場感を出しました。



表情絵を活用して考えを共有



支援② 言葉や文字で考えを表すことが苦手な子どもを支援!

アプリ「ロイロノート」で表情絵カードを配布し、主人公の気持ちを考えさせました。
表情カードを手掛かりに考えさせると、「(主人公は)『すごくうれしい』と思う。それはね、・・・」などと、考えが表現しやすくなります。



吹き出し入りのイラストカードで考えを表現

支援③ 言葉で記述することが苦手な子どもを支援!

イラストを準備し、指を差して説明させました。
言葉で記述することが苦手な子どもでも、考えを表現することができます。

誰もが自分らしい考えをもつことができる道德科の授業

— 活発な議論が広がる授業展開を目指して —

名古屋市道德研究会 テーマ研究部会 部長

名古屋市立庄内小学校 根本 貢太

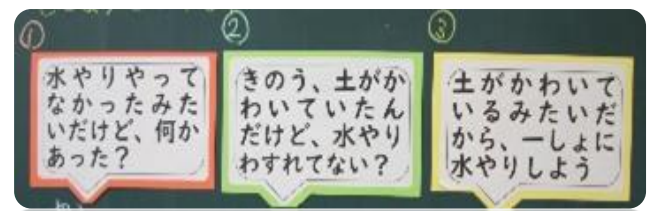


本年度、名古屋市道德研究会のテーマ研究部会では、授業の中で議論を広げるための工夫に焦点を当て、研究を進めています。ここでは、いくつかある活発な議論につながる授業のポイントの中から、2つのポイントを紹介します。

活発な議論につながるポイントを紹介します!

ポイント① 登場人物の言動を選択式にし、理由を問う!

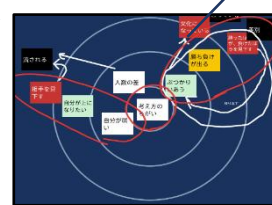
発問の答えを予め、いくつか用意し、選択させ、その理由について意見を交流させました。
話し合わせたい内容がずれにくくなるため、活発な議論が期待できます。



【差別についての考え】
→内側に差別の原因となる考え方や気持ち、外側に差別となる言動となるようにテキストを整理

ポイント② 思考ツールで整理、そこから気付いたことを追及!

アプリ「ロイロノート」の思考ツールで、それぞれの考え方の関係性やつながりを整理させます。
そして、整理したことから、共通点や相違点、もっと詳しく知りたいことなど、新しい発見や新しい疑問に気付かせ、議論につなげます。



「人権週間」12月4日から10日は人権週間です。名古屋市道德研究会の2つの部会が合同で実施している合同部会では、人権週間の取り組みにおすすめの資料や絵本が紹介されました。「人権教育の手引き～みんなで学ぶ人権ワーク集～実践編」に取り上げられている資料の中から「世界サマーキャンプ」、道德教科書にも取り上げられているコラムが集約された絵本「なんだろうなんだろう」(光村図書 ヨシタケ シンスケ作)、「わたしってええところある?」をテーマに書かれた絵本「ええところ」(学研プラス くすのき しげのり作)などです。

月に1度ほど、教育館で研究部会を開いています。詳しくはHPをご覧ください。興味がある方は、お気軽にご参加ください。また、お問い合わせは、各部会の研究部長へお願いします。

